

行動観察を用いた生活製品に対する 外国人の潜在ニーズ抽出研究

 デザイン技術グループ 橋本みゆき
 TEL : 03-5530-2180

外国人を対象に日本の生活製品に対する潜在的なニーズを調査した。多様な言語を等価に扱うため、言語に依存しない行動観察を実施した。行動観察の抽出要素のマトリクス分析により、外国人の潜在ニーズを推測した。

内容・特徴

●研究の狙い

日本製品の海外輸出も増え、外国人のインバウンド需要も高まっている。言語や文化の異なる外国の方々について日本の生活製品の使用行動を調査し、行動の背景と道具との関係性を分析することで、潜在ニーズを抽出し、中小企業の製品の海外輸出やインバウンド向け製品開発支援に役立てる。

●研究内容

◎調査方法: 行動観察

対象: 日本在住の外国人(ドイツ、イタリア、インド、中国、台湾、コロンビア)6名

内容: 自宅での調理、食事、片付けのシーケンス行動を記録

(撮影機材: 360度動画1台、定点動画2台、アイトラッカー1台)

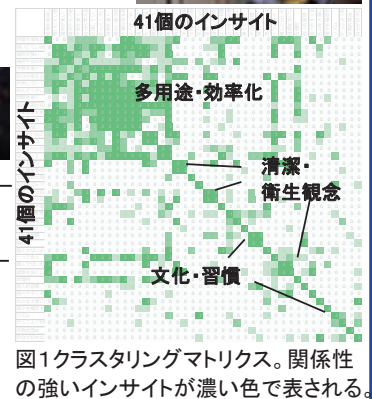
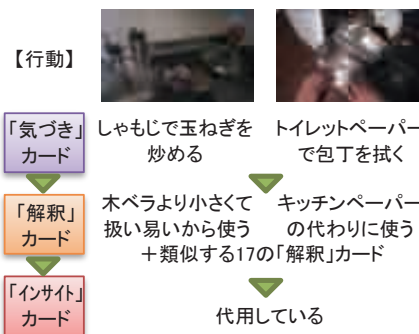
方法: 観察者による気づきのカード化、行動パターン、道具の分類マッピング

◎分析方法: 行動のクラスタリングマトリクス

①各要素の「気づき」カードに対応する行動パターンから、行動の背景をまとめた「解釈」カードを作成。

②「解釈」カードの類型化から、インサイト(洞察)カードに分類。41個のインサイトを抽出。

③インサイトカード同士の関係性をクラスタリングマトリクス化(図1)。各エレメント間の関係性の強度を測る。



従来技術に比べての優位性

- ① 言語に依存しないニーズ調査手法
- ② バイアスを排除した潜在ニーズが推測可能
- ③ 複雑な抽出要素をマトリクスにて分析

予想される効果・応用分野

- ① 生活関連製品産業の企業との共同研究
- ② 外国人のニーズを取入れた製品の開発支援
- ③ 感性評価と融合したデザイン評価法の検討

提供できる支援方法

- 共同研究
- 技術相談
- オーダーメイド開発支援

知財関連の状況、文献・資料

➢ 文献・資料

[1]山岡俊樹編著(2008)『ヒット商品を生む 観察工学: これからのSE, 開発・企画者へ』, 共立出版。

[2]クーマー, ヴィジェイ(2015)『101デザインメソッド: 革新的な製品・サービスを生む「アイデアの工具箱」』, 英治出版。